

# 第68回 日本小児保健協会学術集会

The 68th Annual Meeting of the Japanese Society of Child Health

大きな和で育む 子どもの未来

## プログラム集

**会期** リアルタイム配信期間：2021年6月18日(金)~6月20日(日)  
オンデマンド配信期間：2021年6月16日(水)~6月30日(水)

**会場** Web会場

**会頭** 宮城 雅也 (公益社団法人 沖縄県小児保健協会会長)

**事務局** 公益社団法人 沖縄県小児保健協会  
〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-11番地

# 目次

---

第68回日本小児保健協会学術集会を開催するにあたって	3
参加者へのご案内	4
Web開催方式について	6
その他会議 / 各種研修会・講習会	8
小児科専門医単位について	9
座長と演者のみなさまへ	10
市民公開講座	13
日本小児保健協会学術集会 会頭一覧	14
日程表	
LIVE (オンタイム) 配信プログラム	15
オンデマンド (録画) 配信プログラム	16
小児科専門医単位対象プログラム	17
プログラム	
LIVE配信1日目	21
LIVE配信2日目	22
LIVE配信3日目	24
オンデマンド配信	25
Web閲覧	32
プログラム委員	49
協賛企業・団体一覧	50

## ～第68回日本小児保健協会学術集会を開催するにあたって～

この度、第68回日本小児保健協会学術集会を令和3年6月18日（金）から20日（日）の3日間にわたり、宜野湾市にある沖縄コンベンションセンターで開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、皆様の安全を第一にWeb開催といたします。

今回の学術集会のテーマは、沖縄の心を表現した「大きな和」、皆が協力しあうという意味の「ゆいまーる」、日本古来の「大和の心」、多種多様な人たちを快く受け入れる「和の心」それらを集約し「大きな和で育む 子どもの未来」と題し、地域で多種多様な人々の心が繋がることで子ども達の未来を拓いていこうとの思いを込めております。

近年、家族を取り巻く環境は大きく変容し、個々のライフスタイルの多様化によって、より複雑化しております。その反面、社会生活を営むうえでの人間関係や家族関係は希薄化しており、それに伴う課題は山積してきております。そのような状況のなか今年は、新型コロナウイルス感染拡大が世界中に大きな衝撃を与え、人々に新しい生活様式をもたらしました。なかでも、ソーシャルディスタンスが求められることで、子どもの成長に欠かせない人と人とのふれあいや、保健医療対策の恩恵を享受することが難しくなることが予想されます。

第68回日本小児保健協会学術集会は、どのような社会環境においても、子どもの健やかな未来を拓くため、親子に寄り添い支援できる社会を目指し多様な視点で課題を共有できる意義のある学術集会になると考えます。

また、母子保健関係者をはじめ保健・医療・行政が連携を図ることで、親や子ども達を地域全体で支える社会を目指します。

本来であれば、沖縄という地を肌で感じていただく開催を予定しておりましたが、沖縄でのご参集ができなくとも有意義な学術集会をお届けできるよう関係者一同、精一杯準備を進めてまいります。

沖縄の「若夏」に思いを馳せつつ、Web開催となる本学術集会へご参加いただけますと幸いです。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第68回日本小児保健協会学術集会

会頭 **宮城 雅也**

（公益社団法人 沖縄県小児保健協会会長）

# 参加者へのご案内

---

## 1. 参加登録について

### (1) Web開催登録

Web開催への参加は事前登録が必要となります。

なお、2021年6月18日(金)、19日(土)、20日(日)間、沖縄県での現地開催企画はございませんのでご注意ください。

### 【Web開催参加登録流れ】

[手順]

1. 学術集会のHPの参加登録ページ (<https://www.okinawa-congre.co.jp/jsch2021/web.html>) より申込みを行ってください。
2. 参加費は、クレジットカード決済、銀行振込のみとなりますのでご注意ください。
3. 参加登録完了後に、Web開催ページの閲覧が可能となります。

### (2) 事前登録費

参加区分参加費

種別	参加登録費
医師・歯科医師	10,000円
医師・歯科医師以外	8,000円
大学院生・研修医(※)	5,000円
学部学生(※)	3,000円

※大学院生、学部学生の方は証明書(学生証等)を電子データで運営事務局までメール([jsch2021@okicongre.jp](mailto:jsch2021@okicongre.jp))にてお送りください。

※研修医の方は本学術集会のHP内『Web開催 参加登録』より申請書の書式(<https://www.okinawa-congre.co.jp/jsch2021/files/pfa.pdf>)をダウンロードし、必要事項をご記入の上、電子データを運営事務局までメールにてお送りください。

### (3) ログインIDおよびパスワードについて

ご登録した「ログインID」と「パスワード」は、登録者ご本人にて管理をお願いします。

機密保持のため「パスワード」においては、セキュリティー上お答えできませんので、ご了承ください。

### (4) ポケットプログラム

参加登録を行っていただいた方のみ送付いたします。

## 2. その他

### (1) 講演集

1冊3,000円で販売いたしますので、日本小児保健協会事務局までご連絡ください。  
(冊数に限りがございます)

連絡先：日本小児保健協会事務局 TEL：03 - 3868 - 3093 / FAX：03 - 3868 - 3092 E-mail：jsch-soc@umin.ac.jp
--

### (2) 単位について

本学術集会にて、小児科専門医 新制度における「ii 専門医共通講習」、「iii 小児科領域講習」単位の取得が可能です。

詳細は、P9の「小児科専門医単位について」にてご確認ください。

### (3) 共催セミナー（ランチョンセミナー）

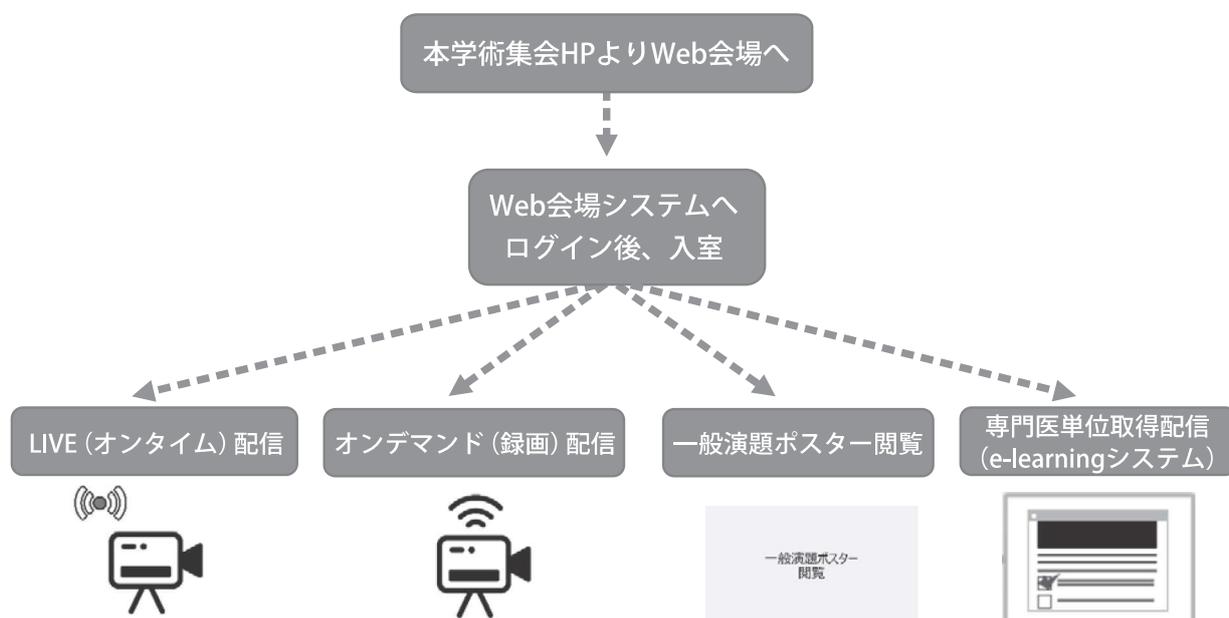
LIVE 配信のみでしかご覧いただけないセミナーもございますので、是非オンタイムでご視聴ください。

詳細は、日程表またはプログラムをご確認ください。

# Web開催方式について

## 1. Web開催視聴の仕方

- (1) 学術集会サイト (<https://www.okinawa-congre.co.jp/jsch2021/>) より参加登録を行ってください。
- (2) 参加登録後、学術集会サイト (<https://www.okinawa-congre.co.jp/jsch2021/>) よりご入室ください。ご入室の際には、参加登録にご登録いただいたメールアドレスおよびパスワードが必要となります。
- (3) 各個人で、インターネット環境が安定した場所からご参加ください。
- (4) ライブ配信プログラムは、通常の学術集会と同様、タイムテーブルに沿ってプログラムを進行いたします。



### LIVE (オンタイム) 配信

LIVE配信プログラムについては、配信アプリケーション (Zoom) を使用し、配信します。

また、質疑時間を設けているプログラムについては、Q&A機能 (質問機能) を用いて質疑応答を実施しますので、ぜひご参加ください。

### オンデマンド (録画) 配信

オンデマンド配信プログラムについては、2021年6月16日 (水) ～6月30日 (水) まで配信します。

また、配信が終了した一部のLIVE配信プログラムは後日オンデマンド配信にて視聴することが可能です。

### 一般演題ポスター閲覧

一般演題掲示については、すべてポスター発表となります。

また、閲覧時の拡大・縮小は可能となりますので、適宜ご自身にてご調整ください。

### 専門医単位取得配信 (e-learningシステム)

小児科専門医の単位取得を希望する方は、「e-learningシステム」より、受講してください。

詳細については、P9の「小児科専門医単位について」をご確認ください。

## 2. Web開催における注意事項

- ご発表データのご登録および参加費のお支払いをもって、第68回日本小児保健協会学術集会にて発表したものとみなします。
- 症例報告は個人の同定がなされないようにプライバシー保護に配慮してご発表をお願いします。
- 画面キャプチャを含む、録音など発表者の権利を侵害する行為は絶対に行わないでください。掲載の発表データ(スライド・画像・動画など)に関して、ビデオ撮影・録音・写真撮影(スクリーンショットを含む)、ダウンロードは固く禁じます。不正行為が特定された場合には、厳正に対処させていただきます。

## 3. 質疑応答について

### (1) LIVE (オンタイム) 配信の場合

基本は配信アプリケーション(Zoom)のQ&A(質疑応答)機能を用いて参加者(聴講者)から質問を受け付け、座長の裁量で選択する形とします。

※ZoomのQ&A(質疑応答)の使用方法は、学術集会ホームページで紹介しています。

### (2) オンデマンド配信および一般演題ポスター閲覧の場合

各閲覧ページ内に「コメント」欄を設けていますので、質問等は「コメント」欄へ記入をお願いします。

なお、ご自身の演題に質問があった場合は、ご登録のメールアドレスへ通知が届きます。オンデマンド配信期間中に必ずご回答ください。

## その他会議

---

■総会

6月19日（土） 13：15～14：15

## 各種研修会・講習会 （※事前申込制です。詳細は日本小児保健協会へお問合せください。）

---

■第9回傷害予防教育セミナー

6月18日（金） 16：30～18：30

■第5回多職種のための投稿論文書き方セミナー

6月19日（土） 14：00～15：30

# 小児科専門医単位について

---

本学術集会にて、小児科専門医 新制度における「ii 専門医共通講習」、「iii 小児科領域講習」単位の取得が可能です。

※学術集会に参加すると取得できる「日本小児科学会 新更新単位 参加証 1 単位」は、Web 開催のため取得できません。

※現在単位申請中のため、プログラムに変動がある場合もございます。あらかじめご了承ください。

※日本専門医機構による認定基準を満たすため、本単位認定は「e-learning システム」を利用し、配信します。Web 開催システムログイン後、専門医単位取得配信 (e-learning システム) へご登録ください。

## 【単位対象プログラム】

### ★ ii 専門医共通講習：3日間 (1 単位)

6月18日(金)～6月20日(日)

対象プログラム：教育講演1：小児医療と医療倫理～立ち止まり、選択を意識し、中庸を目指す～

### ★ iii 小児科領域講習：各日2単位×3日間 (6 単位)

6月18日(金) 9：00～翌9：00

対象プログラム：教育講演2：3歳児検尿・学校検尿の子ども腎臓病診療における役割  
教育講演3：母子手帳の温故知新

6月19日(土) 9：00～翌9：00

対象プログラム：教育講演6：成育基本法を活用したわが国の小児保健の課題解決に向けて  
教育講演7：子どもの肥満症Q&A  
ー子どもの肥満症に対する正しい理解と対応法の普及を目指してー

6月20日(日) 9：00～翌9：00

対象プログラム：教育講演8：メディア依存からアウトメディアへ  
教育講演9：子どものアトピー性皮膚炎の予防・治療戦略  
ースキンケアからプロアクティブ療法までー

## 【手順】

- ① Web 開催ページ内の「専門医単位取得配信」より、「e-learning システム」へお進みください。
- ② 「e-learning システム」へ新規登録をお願いします。
- ③ 新規登録後、ログインいただき、受講したいプログラムを選択し、視聴を行ってください。
- ④ 視聴後、設問5問が出題されますので、ご回答ください。(正解率80%以上を合格とします。)
- ⑤ 設問合格後、証明書が発行されますので、ダウンロードいただき更新時にご自身にてご提出ください。

なお、認定基準として、日本専門医機構へ下記情報を提出いたします。

- ①入室情報ログ
- ②退出情報ログ
- ③視聴時間ログ
- ④設問回答(採点可能80点以上)
- ⑤証明書発行履歴

# 座長と演者のみなさまへ

## リアルタイム (LIVE) 配信

### (1) 発表会場の入室方法

- ①座長と演者はセッション開始15分前に必ず入室してください。  
「座長/演者用」のURLは、事前に電子メールでお送りする「招待URL」から入室をお願いいたします。
- ②複数のセッションで座長またはご講演される場合、URLとパスワードはセッションによって異なります。  
必ず該当セッションの「招待URL」を使用して入室していただくようご注意ください。

### (2) マイク音声ミュートの確認

- ①発言する時以外は必ず音声をミュートするように心掛けてください。  
音声のハウリング等の原因となり他の視聴者が聞きづらくなってしまいますので、極力イヤホンをご用意ください。  
Zoomでの音声ミュートの仕方は、別途ご案内いたします。

### (3) 発表環境の確保

- ①発表の際は、発表やセッション進行の邪魔にならない場所を確保してください。  
～好ましくない環境や場所～
  - ・周辺の雑音が入ったり、電話がかかってきて中断するような状態
  - ・関係のない人がカメラに映り込む等
- ②パソコンはバッテリー駆動ではなく電源に接続してください。
- ③できるだけよいネットワーク環境で発表を行ってください。有線LANの使用を強く推奨いたします。  
必ず事前にテストを行い、講演に問題ないかを確認してください。

## 1. 座長のみなさまへ

### (1) セッション進行について

- ①事前にお配りするプログラムの時間に基づき、時間厳守を徹底してください。
- ②発表の順番になっても演者に接続の不具合等がある場合は、事務局よりお知らせいたします。  
次の演者を繰り上げてセッションを進めてください。  
また、質疑応答の時間に余裕を持たせていただいても結構です。  
いずれの場合でも、セッションの終了時間の厳守をよろしくお願いいたします。
- ③セッションが予定よりも早く終了した場合でも、次のセッションは前倒しせずに、予定の時間通りに開始していただきます。  
(空いた時間は休憩時間とします)

### (2) セッション中の対応について

- ①講演が開始されたら、演者の画面や音声の問題なく伝送されているか確認してください。
- ②演者が講演時間を超えて話し続けるようであれば、警告し終了するように伝えてください。
- ③質疑応答については、Q&A機能の画面から適宜質問を選んで、参加者(聴講者)の代わりに演者へ質問してください。  
※ Zoom Q&A機能の使用方法は、別途ご案内いたします。

## 2. 演者のみなさまへ

- ・セッション会場(Zoom システム)には、セッション開始前に接続し、座長と演者との間で音声のやりとりができるかの確認を行います。
- ・ご自身の発表のあるセッション中は、セッション開始時から継続的に接続しておいてください。

- (1) 前の演者の講演終了が近づいたら、すぐにご自身の講演ができるように Zoom の画面共有の準備と音声ミュートを解除する準備をしておいてください。
- (2) 前の講演が終わらないうちは画面の共有は開始しないでください。  
発表開始時の画面共有は、必ず前の講演が完全に終了したことを確認してから行ってください。  
※前の講演が終わらないうちに画面共有を開始すると、前の演者の画面共有(=ご発表)が停止されてしまいますので十分ご注意ください。
- (3) 前の講演が終了したら、画面共有を開始し、音声ミュートを解除したうえで、座長からの紹介に続いて発表を開始してください。
- (4) 発表者は、最初に自分の名前・所属を参加者(聴講者)へ簡単に伝えてください。
- (5) 講演時間は厳守してください。  
原則として、計時進行のベルは鳴りませんので、発表者自身で発表時間を管理してください。
- (6) 参加者の通信環境への配慮を行ってください。  
帯域の細いネットワーク環境で聴講している参加者の画面では、発表者が手元で画面を切り替えたりマウスを操作したりしてから、それが伝わるまでに遅延が発生します。そのことを十分考慮して講演を行ってください。
- (7) 質疑応答のあるプログラムは、全講演が終了次第、質疑応答に進みます。  
画面共有を解除し、座長の指示に従って質問に答えてください。
- (8) 質疑応答が終了したら、速やかに音声をミュートしてください。

## 3. 一般演題(ポスター)発表者のみなさまへ

一般演題(ポスター)発表閲覧期間：2021年6月16日(水)～2021年6月30日(水)

※下記の項目の一つでもあてはまる場合、発表扱いとはなりませんのでご注意ください。

- ・Web参加登録に登録がない場合
- ・発表データの提出がない場合

### 一般演題発表データ作成要領について

- ①ファイル形式：PDF形式 ※動画、音声はご利用いただけません。
- ②スライド枚数：10～15枚程度  
(タイトルスライド(1枚目)、COI(利益相反)の開示スライド(2枚目)を含む)  
なお、Microsoft Power Point で15枚のスライドを作成いただき、ファイル保存の際にPDFに変換いただくと発表データの登録がスムーズです。
- ③1スライド当たりのファイル容量：容量にかぎりはありません  
※15枚の場合、最大5MB×15枚=75MBまでとなります。
- ④作成いただく元のスライドサイズは16：9で作成をお願いします。

#### 4. 全ての発表者のみなさまへ重要なお知らせ：COI（利益相反）の開示

本学術集会では演題発表に際し、発表者（筆頭演者のみ）について、発表する研究内容に関連する利益相反の開示が必要です。

1. 産学連携活動にかかわる受け入れ額が、1企業あたり年間200万円以上（所属機関からの間接経費が差し引かれる前の金額）の場合
2. コンサルタント、指導、講演等としての個人収益が、1企業あたり年間100万円以上（税金や源泉徴収額を引く前の金額）の場合
3. 産学連携活動にかかわる個人収益（公開・未公開を問わず、当該企業の株式等の出資・取得・保有および売却・譲渡、ストックオプションの権利譲受、もしくは役員報酬、特許権使用料等）が1企業あたり年間100万円以上あった場合（ただし、投資信託、もしくは当該個人によって管理・制御できない多角的なファンドにおいて資金運用される場合を除く）
4. 上記項目1～3のいずれかに該当する企業に一親等の親族が現在勤務している場合

※発表者はスライドの2枚目（タイトルスライドの後）に、下記のいずれかの様式を使用して提示してください。

※開示用スライドのひな形は、本学術集会サイトの『座長・演者へのご案内』よりダウンロードしてご使用ください。

（例）COIの開示無し

演題番号 P-●●

**日本小児保健協会**  
**COI 開示**

発表者名(筆頭演者): ●● ●●

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある企業等はありません。

（例）COIの開示あり

演題番号 P-●●

**日本小児保健協会**  
**COI 開示**

発表者名(筆頭演者): ●● ●●

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある企業などとして、  
産学連携活動にかかわる受け入れ: ●●製薬  
コンサルタント、指導: ●●製薬  
株保有・利益: ●●株式会社  
特許使用料: ●●製薬  
講演料: ●●製薬  
原稿料: ●●製薬  
一親等の親族: ●●製薬

※開示すべき内容のある項目のみ記載ください。

主催：第68回日本小児保健協会学術集会

視聴無料  
お申込み不要!

# 市民公開講座

## 子どもの生活習慣がもたらす生活の質

～沖縄県小児保健協会 子どもの生活習慣対策 委員会の取り組み～

### プログラム

#### 基調講演

『胎児から始める生活習慣病の予防～童(わらび)どう宝の思想～』

講演：安次嶺馨(子どもの生活習慣対策委員会 委員長)

#### (1) 周産期小委員会

『受動喫煙から赤ちゃんと家族を守りましょう』

講演：吉田朝秀(琉球大学病院)

#### (2) 食育小委員会

『朝ごはんから始まる元気な一日』

講演：浜端宏英(アワセ第一医院)

#### (3) 生活習慣小委員会

『沖縄県次世代健康教育副読本作成とそれをもとにした小学校での出前講座の経験』

講演：山代 寛(沖縄大学)

#### (4) 歯科小委員会

『「子どものむし歯0(ゼロ)へのチャレンジ」- 歯科小委員会の取組 -』

講演：野田直美(沖縄県歯科衛生士会)

#### (5) 運動・遊び小委員会

『子どもの生活習慣を子どもの生活の質(QOL)から考える

～子どものウェルビーイングを充実させるための遊びの可能性～』

講演：垣花道朗(NPO法人沖縄県学童・保育支援センター)

オンデマンド配信  
2021年6月16日(水)  
～6月30日(水)

 YouTube  
配信します!

<https://www.okinawa-congre.co.jp/jsch2021/>

-お問い合わせ先-

第68回日本小児保健協会学術集会 運営事務局 TEL 098-869-4220 Email: jsch2021@okicongre.jp

# 日本小児保健協会学術集会 会頭一覧

回 (開催年月)	開催地	会 頭	回 (開催年月)	開催地	会 頭
第1回 (1954年11月)	東 京	斎藤 文雄	第37回 (1990年10月)	東 京	水原 春郎
第2回 (1955年10月)	大 阪	西澤 義人	第38回 (1991年 9 月)	旭 川	吉岡 一
第3回 (1956年10月)	福 岡	遠城寺宗徳	第39回 (1992年11月)	島 根	森 忠三
第4回 (1957年 9 月)	仙 台	佐野 保	第40回 (1993年10月)	金 沢	四家正一郎
第5回 (1958年 9 月)	東 京	中村 文弥	第41回 (1994年 9 月)	水 戸	澤田俊一郎
第6回 (1959年12月)	名古屋	坂本 陽	第42回 (1995年10月)	長 崎	辻 芳郎
第7回 (1960年11月)	東 京	小林 彰	第43回 (1996年 9 月)	神奈川	小宮 弘毅
第8回 (1961年11月)	広 島	大谷 敏夫	第44回 (1997年10月)	京 都	澤田 淳
第9回 (1962年10月)	新 潟	小林 収	第45回 (1998年 9 月)	東 京	前川 喜平
第10回 (1963年10月)	熊 本	貴田 丈夫	第46回 (1999年10月)	札 幌	南部 春生
第11回 (1964年10月)	金 沢	佐川 一郎	第47回 (2000年11月)	高 知	倉繁 隆信 喜多村 勇
第12回 (1965年11月)	京 都	永井 秀夫	第48回 (2001年11月)	東 京	青木 継稔
第13回 (1966年10月)	東 京	斎藤 潔	第49回 (2002年10月)	神 戸	中村 肇
第14回 (1967年10月)	岡 山	浜本 英次	第50回 (2003年10月)	鹿児島	銚之原 昌
第15回 (1968年10月)	札 幌	南浦 邦夫	第51回 (2004年11月)	盛 岡	千田 勝一
第16回 (1969年10月)	東 京	内藤寿七郎	第52回 (2005年10月)	下 関	古川 漸
第17回 (1970年10月)	久留米	船津維一郎	第53回 (2006年10月)	山 梨	大山 建司
第18回 (1971年10月)	盛 岡	若生 宏	第54回 (2007年 9 月)	群 馬	森川 昭廣
第19回 (1972年11月)	群 馬	松村 龍雄	第55回 (2008年 9 月)	札 幌	堤 裕幸
第20回 (1973年10月)	徳 島	宮尾 益英	第56回 (2009年10月)	大 阪	大藪 恵一
第21回 (1974年11月)	東 京	国分 義行	第57回 (2010年 9 月)	新 潟	内山 聖
第22回 (1975年10月)	青 森	泉 幸男	第58回 (2011年 9 月)	名古屋	大西 文子
第23回 (1976年10月)	長 崎	浅野 清治	第59回 (2012年 9 月)	岡 山	小田 慈
第24回 (1977年10月)	神奈川	入江 英博	第60回 (2013年 9 月)	東 京	岡田 知雄
第25回 (1978年10月)	鳥 取	堀田 正之	第61回 (2014年 6 月)	福 島	鈴木 順造
第26回 (1979年11月)	東 京	林 路彰	第62回 (2015年 6 月)	長 崎	森内 浩幸
第27回 (1980年10月)	東 京	中山健太郎	第63回 (2016年 6 月)	埼 玉	渡部 茂
第28回 (1981年 9 月)	北海道	中尾 亨	第64回 (2017年 6 月)	大 阪	金子 一成
第29回 (1982年 9 月)	沖 縄	知念 正雄	第65回 (2018年 6 月)	米 子	神崎 晋
第30回 (1983年10月)	埼 玉	高木 泰	第66回 (2019年 6 月)	東 京	岡 明
第31回 (1984年10月)	京 都	楠 智一	第67回 (2020年11月)	久留米	山下裕史朗
第32回 (1985年10月)	秋 田	東 音高	※新型コロナウイルス感染症の 感染拡大の状況によりWeb開催。		
第33回 (1986年10月)	東 京	植田 穰	第68回 (2021年6月)	沖 縄	宮城 雅也
第34回 (1987年11月)	高 知	尾木文之助	※新型コロナウイルス感染症の 感染拡大の状況によりWeb開催。		
第35回 (1988年10月)	新 潟	堺 薫			
第36回 (1989年11月)	広 島	清水 凡生			

# 日程表 LIVE (オンタイム) 配信プログラム

	6月18日(金)のみ	6月19日(土)のみ	6月20日(日)のみ
9:00	9:00~9:15 <b>開会挨拶</b> <small>LIVE配信</small> ⌚ 15分	9:00~10:00 <b>特別講演 2</b> <small>後日オンデマンド配信</small> ⌚ 60分 大きな支援の力で歴史の象徴を取り戻す —首里城再建を目指して— 座長：宮城 雅也 演者：高良 倉吉	
10:00	10:00~11:00 <b>特別講演 1</b> <small>後日オンデマンド配信</small> ⌚ 60分 Digital Social Innovation 座長：小枝 達也 演者：Audrey TANG	10:00~11:00 <b>特別講演 3</b> <small>後日オンデマンド配信</small> ⌚ 60分 私たちはふつうに老いることができない ～親たちの体験から考える社会的支援のあり方～ 座長：岡 明 演者：児玉 真美	<b>ランチョンセミナー 2</b> 治療できるようになった神経筋疾患 ～デュシェンヌ型筋ジストロフィーを 見逃さないための早期診断のポイント～ 座長：奥村 彰久 演者：船戸 道徳 共催：日本新薬株式会社  <b>ランチョンセミナー 3</b> 睡眠治療で広げる子どもの未来と可能性 -神経発達症の小児の睡眠問題への介入 から実感する睡眠の重要性- 座長：岡 明 演者：菊池 清 共催：ノーベルファーマ株式会社/ 株式会社メディアバルホールディングス
11:00	11:10~11:40 <b>会頭講演</b> <small>後日オンデマンド配信</small> ⌚ 30分	11:00~12:00 <b>教育講演 4</b> <small>LIVE配信</small> ⌚ 60分 ワクチン接種ためらいへの対応 座長：安慶田英樹 演者：岡田 賢司	
12:00	大きな和で育む子どもの未来 —沖縄の小児保健の過去・現在から未来へ— 座長：平山 雅浩 演者：宮城 雅也	12:00~13:00 <b>ランチョン セミナー 2</b> <small>LIVE配信</small> ⌚ 60分	12:00~13:00 <b>ランチョン セミナー 3</b> <small>LIVE配信</small> ⌚ 60分
13:00		12:00~13:00 <b>ランチョンセミナー 4</b> <small>LIVE配信</small> ⌚ 60分 HPVワクチン—地域で広めるために— 座長：浜端 宏英 演者：黒木 春郎 共催：MSD株式会社	13:00~14:30 <b>日本小児保健協会企画 若手シンポジウム 2</b> <small>LIVE配信</small> ⌚ 90分 性教育の多様性～ミライはどうなっている？～ 座長：中井 靖 演者：Ronni Alexander 津田 聡子 桑江喜代子
14:00	14:00~15:00 <b>基調講演</b> <small>後日オンデマンド配信</small> ⌚ 60分 子どもの未来のための小児保健の役割 座長：宮城 雅也 演者：小枝 達也	13:15~14:15 <b>総 会</b> <small>LIVE配信</small> ⌚ 60分 主催：日本小児保健協会	
15:00		14:00~15:30 <b>第 5 回多職種のための 投稿論文書き方セミナー</b> <small>後日オンデマンド配信</small> ⌚ 90分 主催：日本小児保健協会	
16:00		15:30~16:30 <b>教育講演 5</b> <small>LIVE配信</small> ⌚ 60分 ①胎児からはじめるアレルギー対策 ②子どものアトピー性皮膚炎の予防・治療戦略 —スキンケアからプロアクティブ療法まで— 座長：成田 雅美 演者：大矢 幸弘	
17:00	16:30~18:30 <b>第 9 回傷害予防教育セミナー</b> <small>後日オンデマンド配信</small> ⌚ 120分 主催：日本小児保健協会	16:30~18:30 <b>日本小児保健協会企画 若手シンポジウム 1</b> <small>LIVE配信</small> ⌚ 120分 コロナ禍におけるICTを活用した先進的な取り組み 座長：森藤香奈子 小島 令嗣 演者：三浦 真澄 北畠 康司 石井 隆大 今井雄一郎 矢野浩二郎 三浦絵莉子	
18:00			

# 日程表 オンデマンド（録画）配信プログラム

6月16日(水)～6月30日(水)		
<b>教育講演 1</b> 60分 小児医療と医療倫理～立ち止まり、選択を意識し、中庸を目指す～ 座長：浜端 宏英 演者：金城 隆展	<b>教育講演12</b> 60分 キズ・キズあとに対する形成外科手技を応用した小児先天性疾患の治療 座長：清川 兼輔 演者：清水 雄介	<b>シンポジウム 3</b> 100分 子育て世代包括支援センター（母子健康包括支援センター）が目指すもの 座長：山縣然太郎 演者：佐藤 拓代 島 香苗 島袋 裕子
<b>教育講演 2</b> 60分 3歳児検尿・学校検尿の子ども腎臓病診療における役割 座長：五十嵐 隆 演者：中西 浩一	<b>教育講演13</b> 60分 体罰としつけの間にあるもの 座長：安次嶺 馨 演者：西澤 哲	<b>シンポジウム 4</b> 100分 周産期医療体制・支援体制の実践 座長：屋良 朝雄 演者：吉田 朝秀 真喜屋 智子 宮 貴子 鎌田 晃子
<b>教育講演 3</b> 60分 母子手帳の温故知新 座長：宮城 雅也 演者：中村 安秀	<b>COVID19対応 基本シンポジウム</b> 140分 COVID19と子どもの未来・レジリエンス 座長：高橋 孝雄 森内 浩幸 演者：高橋 孝雄 森内 浩幸 半谷まゆみ 山崎 嘉久	<b>シンポジウム 5-1</b> 60分 神経発達症セミナー1 座長：山下裕史朗 演者：平岩 幹男
<b>教育講演 6</b> 60分 成育基本法を活用したわが国の小児保健の課題解決に向けて 座長：秋山千枝子 演者：五十嵐 隆	<b>COVID19対応 分野シンポジウム 1</b> 110分 コロナ禍での経済危機と子どもの貧困 座長：武内 一 演者：阿部 彩 菅原ますみ 仲村 卓之	<b>シンポジウム 5-2</b> 90分 神経発達症セミナー2 座長：三牧 正和 演者：高木 潤野 田中 恭子 星野 恭子
<b>教育講演 7</b> 60分 子どもの肥満症Q&A 一子どもの肥満症に対する正しい理解と対応法の普及を目指して～ 座長：平山 雅浩 演者：岡田 知雄	<b>COVID19対応 分野シンポジウム 2</b> 90分 コロナに負けない！ 災害に負けない！～コロナ禍での医療的ケア児への関わり方～ 座長：岡 明 演者：土島 智幸 緒方 健一	<b>沖縄チャレンジ企画 シンポジウム</b> 110分 成人期へつなぐ切れ目のない発達支援を実現するために 座長：勝連 啓介 演者：眞榮田 恵 羽地 知香 比嘉 昌哉
<b>教育講演 8</b> 60分 メディア依存からアウトメディアへ 座長：前田 美穂 演者：山縣然太郎	<b>シンポジウム 1</b> 140分 沖縄の子どもたち～むし歯減少の先に見えてくるもの～ 座長：當間 隆也 田村 文誉 演者：田村 文誉 比嘉千賀子 山城いと子 加藤真由美	<b>市民公開講座</b> 90分 <span style="float: right;">Youtube配信あり</span> 子どもの生活習慣がもたらす生活の質～沖縄県小児保健協会 子どもの生活習慣対策委員会の取り組み～ 座長：上原真理子、勝連 啓介 演者：安次嶺 馨、吉田 朝秀 浜端 宏英、山代 寛 野田 直美、垣花 道朗
<b>教育講演 9</b> 60分 子どものアトピー性皮膚炎の予防・治療戦略～スキンケアからプロアクティブ療法まで～ 座長：山口さやか 演者：江藤 隆史	<b>シンポジウム 2</b> 90分 子ども期の「生活の質」から生活習慣を考える 座長：吉葉 研司 演者：吉葉 研司 野井 真吾	<b>ランチョンセミナー 1</b> 60分 「原因不明の歩容異常」や「特徴的な乳歯早期脱落」に潜む難病 -ALP低値で気づく『低ホスファターゼ症 (HPP)』- 鑑別診断ののち酵素補充療法が導入され、移動能力に影響を認めたHPP併発脳性麻痺患者の一例 演者：田村 太資 歯科から小児科へ紹介される難病『低ホスファターゼ症 (HPP)』-急速に進む地域の歯科医科連携- 演者：佐藤 秀夫 共催：アレクシオンファーマ合同会社
<b>教育講演10</b> 120分 乳幼児健診～関連領域のスクリーニングを考える～ 座長：小濱 守安 演者：仁科 幸子 金城 健 鈴木 幹男	<b>教育講演11</b> 60分 子どもの運動スポーツとサプリメント・ドーピング～管理栄養士の視点から～ 座長：原 光彦 演者：杉浦 令子	

※教育講演4・5は、「LIVE（オンタイム）配信」のみ。

# 日程表 小児科専門医単位対象プログラム

## 小児科専門医単位対象プログラム (e-learningシステムより配信します。)

本学術集会にて、小児科専門医 新制度における「ii 専門医共通講習」、「iii 小児科領域講習」単位の取得が可能です。

詳細は、P9の「小児科専門医単位について」をご確認ください。

ii 専門医共通講習			
6月18日(金) 9:00 ~ 6月20日(日) 23:59			
🕒 60分			
<b>教育講演 1 (1単位)</b> 小児医療と医療倫理 ~立ち止まり、選択を意識し、中庸を目指す~ 座長：浜端 宏英 演者：金城 隆展			
6月18日(金)のみ 9:00 ~ 翌 9:00		6月19日(土)のみ 9:00 ~ 翌 9:00	
iii 小児科領域講習			
🕒 60分		🕒 60分	
<b>教育講演 2 (1単位)</b> 3歳児検尿・学校検尿の 子ども腎臓病診療における役割 座長：五十嵐 隆 演者：中西 浩一		<b>教育講演 6 (1単位)</b> 成育基本法を活用したわが国の 小児保健の課題解決に向けて 座長：秋山千枝子 演者：五十嵐 隆	
🕒 60分		🕒 60分	
<b>教育講演 3 (1単位)</b> 母子手帳の温故知新 座長：宮城 雅也 演者：中村 安秀		<b>教育講演 7 (1単位)</b> 子どもの肥満症Q&A -子どもの肥満症に対する 正しい理解と対応法の普及を目指して- 座長：平山 雅浩 演者：岡田 知雄	
🕒 60分		🕒 60分	
		<b>教育講演 8 (1単位)</b> メディア依存からアウトメディアへ 座長：前田 美穂 演者：山縣然太郎	
		<b>教育講演 9 (1単位)</b> 子どものアトピー性皮膚炎の予防・治療戦略 -スキンケアからプロアクティブ療法まで- 座長：山口さやか 演者：江藤 隆史	



第68回  
日本小児保健協会学術集会

---

プログラム



特別講演 1

後日オンデマンド配信

10:00 ~ 11:00 座長：小枝 達也 (国立成育医療研究センターこころの診療部)

Digital Social Innovation

Audrey TANG Executive Yuan

会頭講演

後日オンデマンド配信

11:10 ~ 11:40 座長：平山 雅浩 (三重大学大学院医学系研究科 小児科学)

大きな和で育む子どもの未来  
— 沖縄の小児保健の過去・現在から未来へ —

宮城 雅也 公益社団法人 沖縄県小児保健協会

基調講演

後日オンデマンド配信

14:00 ~ 15:00 座長：宮城 雅也 (公益社団法人 沖縄県小児保健協会)

子どもの未来のための小児保健の役割

小枝 達也 日本小児保健協会 会長、国立成育医療研究センターこころの診療部

第9回傷害予防教育セミナー

日本小児保健協会主催

後日オンデマンド配信

16:30 ~ 18:30

子どもの傷害の実態と傷害予防の考え方

講師：山中 龍宏 緑園こどもクリニック 院長

データを活用した科学的な傷害予防の実践

講師：北村 光司 国立研究開発法人産業技術総合研究所

大野 美喜子 国立研究開発法人産業技術総合研究所

傷害データの収集や活用法の実際

講師：林 幸子 国立研究開発法人国立成育医療研究センター 救急センター副看護師長

地域で取り組む科学的傷害予防

講師：出口 貴美子 出口小児科医院 院長

## 特別講演 2

後日オンデマンド配信

9:00～10:00 座長：宮城 雅也（公益社団法人 沖縄県小児保健協会）

大きな支援の力で歴史の象徴を取り戻す—首里城再建を目指して—

高良 倉吉 首里城復元に向けた技術検討委員長

## 特別講演 3

後日オンデマンド配信

10:00～11:00 座長：岡 明（埼玉県立小児医療センター）

私たちはふつうに老いることができない  
～親たちの体験から考える社会的支援のあり方～

児玉 真美 一般社団法人日本ケアラー連盟

## 教育講演 4

11:00～12:00 座長：安慶田 英樹（沖縄県小児保健協会附属クリニック）

ワクチン接種ためらいへの対応

岡田 賢司 福岡看護大学 基礎・基礎看護部門

## ランチョンセミナー 2

12:00～13:00 座長：奥村 彰久（愛知医科大学病院 小児科）

**LS2** 治療できるようになった神経筋疾患  
～デュシェンヌ型筋ジストロフィーを見逃さないための早期診断のポイント～

船戸 道徳 独立行政法人国立病院機構 長良医療センター 小児科

共催：日本新薬株式会社

## ランチョンセミナー 3

12:00～13:00 座長：岡 明（埼玉県立小児医療センター）

**LS3** 睡眠治療で広げる子どもの未来と可能性  
- 神経発達症の小児の睡眠問題への介入から実感する睡眠の重要性 -

菊池 清 兵庫県立リハビリテーション中央病院 子どものリハビリテーション・睡眠・発達医療センター

共催：ノーベルファーマ株式会社 / 株式会社メディパルホールディングス

第5回多職種のための投稿論文書き方セミナー 日本小児保健協会主催

後日オンデマンド配信

14:00～15:30

質的研究論文の執筆でおさえおくべき点

講師：木下 康仁 聖路加国際大学大学院看護学研究科

これだけは押さえておきたい投稿論文のポイント  
アクセプトされるためのコツ (仮)

講師：佐藤 ゆき 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所、編集委員会委員

教育講演 5

15:30～16:30 座長：成田 雅美 (杏林大学医学部小児科学教室)

- ①胎児からはじめるアレルギー対策
- ②子どものアトピー性皮膚炎の予防・治療戦略  
ースキンケアからプロアクティブ療法までー

大矢 幸弘 国立成育医療研究センター

日本小児保健協会企画 若手シンポジウム 1

コロナ禍における ICT を活用した先進的な取り組み

16:30～18:30 座長：森藤 香奈子 (長崎大学生命医科学域保健学系)  
小島 令嗣 (山梨大学大学院 総合研究部医学域 社会医学講座)

YS1-1 鳥取大学医学部附属病院 NICU・GCU の面会支援

三浦 真澄 鳥取大学医学部附属病院

YS1-2 NICU におけるオンライン面会システムの導入とその未来

北畠 康司 大阪大学医学部附属病院・小児科

YS1-3 久留米大学小児科における ICT を取り入れた小児保健指導の試み

石井 隆大 久留米大学医学部医学科小児科学教室

YS1-4 地方公立病院の COVID-19 診療における遠隔診療・家族支援

今井 雄一郎 名張市立病院 感染症科

YS1-5 コロナ禍およびアフターコロナを乗り越えるための VR 技術の活用について

矢野 浩二郎 大阪工業大学 情報科学部

YS1-6 小児病棟における ICT を用いたきょうだい支援

三浦 絵莉子 聖路加国際病院こども医療支援室

ランチョンセミナー 4

12:00～13:00 座長：浜端 宏英（医療法人さくら会 アワセ第一医院）

LS4 HPV ワクチン—地域で広めるために—

黒木 春郎 医療法人社団嗣業の会 外房こどもクリニック／千葉大学医学部

共催：MSD 株式会社

日本小児保健協会企画 若手シンポジウム 2  
性教育の多様性～ミライはどうなっている？～

13:00～14:30 座長：中井 靖（京都女子大学発達教育学部）

YS2-1 これからの「性」との向き合い方～平和学の視点から～

Ronni Alexander 神戸大学

YS2-2 インドネシアの性に関する教育 — 「多様性の中の統一」の中で—

津田 聡子 中部大学 生命健康科学部 作業療法学科

YS2-3 沖縄県における思春期性教育の現状と課題

～スマホ社会、若者の望まない妊娠と性感染症をめぐって～

桑江 喜代子 一般社団法人沖縄県助産師会

教育講演 1

単位対象プログラム

座長：浜端 宏英（医療法人さくら会 アワセ第一医院）

小児医療と医療倫理 ～立ち止まり、選択を意識し、中庸を目指す～

金城 隆展 琉球大学病院 地域・国際医療部

教育講演 2

単位対象プログラム

座長：五十嵐 隆（国立成育医療研究センター）

3歳児検尿・学校検尿の子ども腎臓病診療における役割

中西 浩一 琉球大学大学院 医学研究科 育成医学講座

教育講演 3

単位対象プログラム

座長：宮城 雅也（公益社団法人 沖縄県小児保健協会）

母子手帳の温故知新

中村 安秀 公益社団法人日本 WHO 協会

教育講演 6

単位対象プログラム

座長：秋山 千枝子（あきやま子どもクリニック）

成育基本法を活用したわが国の小児保健の課題解決に向けて

五十嵐 隆 国立成育医療研究センター

教育講演 7

単位対象プログラム

座長：平山 雅浩（三重大学大学院医学系研究科 小児科学）

子どもの肥満症 Q&A

一子どもの肥満症に対する正しい理解と対応法の普及を目指して一

岡田 知雄 神奈川工科大学健康医療科学部 管理栄養学科、日本大学医学部小児科

※教育講演 4・5 は、「LIVE (オンタイム) 配信」のみ。

## 教育講演 8

単位対象プログラム

座長：前田 美穂（日本医科大学）

メディア依存からアウトメディアへ

山縣 然太郎 山梨大学大学院総合研究部医学域 社会医学講座

## 教育講演 9

単位対象プログラム

座長：山口 さやか（琉球大学病院皮膚科）

子どものアトピー性皮膚炎の予防・治療戦略  
ースキンケアからプロアクティブ療法までー

江藤 隆史 あたご皮フ科／東京通信病院

## 教育講演 10 乳幼児健診～関連領域のスクリーニングを考える～

座長：小濱 守安（沖縄南部療育医療センター）

乳幼児期における視覚スクリーニングの重要性

仁科 幸子 国立成育医療研究センター 感覚器・形態外科部 眼科

日本における乳児股関節健診と先天性股関節脱臼診断遅延の状況  
ーリスク因子による新たな乳児股関節健診の必要性と問題点ー

金城 健 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児整形外科

島嶼環境下での難聴スクリーニングと難聴支援：沖縄県における取り組み

鈴木 幹男 琉球大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座

## 教育講演 11

座長：原 光彦（東京家政学院大学 人間栄養学部）

子どもの運動スポーツとサプリメント・ドーピング  
～管理栄養士の視点から～

杉浦 令子 和洋女子大学 家政学部 健康栄養学科

## 教育講演 12

座長：清川 兼輔（久留米大学 医学部 形成外科・顎顔面外科学講座）

キズ・キズあとに対する形成外科手技を応用した小児先天性疾患の治療

清水 雄介 琉球大学大学院医学研究科 形成外科学講座

教育講演 13

座長：安次嶺 馨（前沖縄県立中部病院 ハワイ大学卒業後医学臨床研修事業団）

体罰としつけの間にあるもの

西澤 哲 公立大学法人 山梨県立大学 人間福祉学部・福祉コミュニティ学科

COVID19 対応 基本シンポジウム COVID19 と子どもの未来・レジリエンス

座長：高橋 孝雄（慶應義塾大学医学部小児科学教室）

森内 浩幸（長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 小児科）

CBSY-1 コロナ禍に考える子どものレジリエンスとヘルス・リテラシー

高橋 孝雄 慶應義塾大学医学部小児科学教室

CBSY-2 COVID-19 ～子どもと大人でどう違う？

森内 浩幸 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 小児科

CBSY-3 コロナ禍における子どもたちのところとからだ（コロナ×こどもアンケート・全国調査より）

半谷 まゆみ 国立成育医療研究センター 社会医学研究部、  
東京大学大学院医学系研究科 生殖・発達・加齢医学専攻 小児医学講座

CBSY-4 COVID-19 禍での乳幼児健康診査の実施状況について

山崎 嘉久 日本小児保健協会、あいち小児保健医療総合センター 保健センター

COVID19 対応 分野シンポジウム 1 コロナ禍での経済危機と子どもの貧困

座長：武内 一（佛教大学社会福祉学部）

CASY1-1 日本の相対的貧困と子どもの健康：貧困層の子どもの健康悪化を考える

阿部 彩 東京都立大学 人文科学研究科

CASY1-2 貧困・低所得と子どもの発達

菅原 ますみ 白百合女子大学 人間総合学部 発達心理学科

CASY1-3 沖縄県の子どもの貧困解消に向けて

仲村 卓之 沖縄県子ども生活福祉部 子ども未来政策課

## オンデマンド配信

### COVID19 対応 分野シンポジウム 2

コロナに負けない！ 災害に負けない！ ～コロナ禍での医療的ケア児への関わり方～

座長：岡 明（埼玉県立小児医療センター）

**CASY2-1** コロナ禍での医療的ケア児への関わり方  
～北海道札幌市の小児在宅医療機関の事例～

土島 智幸 医療法人稲生会 生涯医療クリニックさっぽろ

**CASY2-2** 災害でもコロナに負けない小児在宅医療を目指して

緒方 健一 医療法人おがた会 おがた小児科内科医院・医療型短期入所施設「かぼちゃんクラブ」

### シンポジウム 1 沖縄の子どもたち～むし歯減少の先に見えてくるもの～

座長：當間 隆也（Kukuru きっずクリニック）

田村 文誉（日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック）

**基調講演 SY1-1** 乳幼児の歯や口の機能の発達とその支援について

田村 文誉 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック

**SY1-2** 沖縄県幼児のむし歯ワーストからの脱却 「親子で歯っぴ～ プロジェクト」  
の成果について

比嘉 千賀子 沖縄県小児保健協会理事

**SY1-3** 幼児期の食べる力を育てる取り組み  
～保育所等の特性を生かした食育のさらなる推進について～

山城 いと子（元）那覇市こども教育保育課

**SY1-4** 子どもの食べる機能への気づきと対応～小児歯科医としての地域活動～

加藤 真由美 くばがわ歯科医院

### シンポジウム 2 子ども期の「生活の質」から生活習慣を考える

座長：吉葉 研司（名古屋学芸大学）

**SY2-1** 子どもの生活習慣を、子どもの「生活の質」という視点から考える

吉葉 研司 名古屋学芸大学

**SY2-2** 子どもは「遊び」でヒトになり、人間になる

野井 真吾 日本体育大学

シンポジウム3 子育て世代包括支援センター（母子健康包括支援センター）が目指すもの

座長：山縣 然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域 社会医学講座）

SY3-1 子育て世代包括支援センター（母子健康包括支援センター）が目指すもの

佐藤 拓代 公益社団法人 母子保健推進会議

SY3-2 伊達市版ネウボラ事業

妊娠期からの切れ目のない支援 そして親子が笑顔になる架け橋

畠 香苗 福島県伊達市役所 教育委員会 こども部 ネウボラ推進課

SY3-3 沖縄市における子育て世代包括支援センター設置後の妊産婦支援の  
取り組みと課題について

島袋 裕子 沖縄市役所 こどものまち推進部 こども相談・健康課

シンポジウム4 周産期医療体制・支援体制の実践

座長：屋良 朝雄（那覇市立病院）

SY4-1 沖縄県周産期情報ネットワークの働き ～OPeNによる搬送症例の検討～

吉田 朝秀 琉球大学病院 周産母子センター、沖縄周産期ネットワーク協議会

SY4-2 周産期医療体制充実のために～行政が支援する新生児蘇生法講習会～

真喜屋 智子 沖縄県立中部病院 総合周産期母子医療センター

SY4-3 周産期のメンタルヘルス

～過去6年間の診療の中で見えてきたものと、これから必要な取り組みについて

宮 貴子 社会医療法人 葦の会 オリブ山病院

SY4-4 災害時の多職種連携による地域療養支援体制—熊本地震の経験を通して—

鎌田 晃子 熊本市民病院 患者サポートセンター

シンポジウム5-1 神経発達症セミナー1

座長：山下 裕史朗（久留米大学 小児科）

SY5-1-1 幼児期における行動・コミュニケーション課題への対応

平岩 幹男 Rabbit Developmental Research

## シンポジウム 5-2 神経発達症セミナー 2

座長：三牧 正和（帝京大学医学部小児科）

### SY5-2-1 場面緘黙（選択性緘黙）の理解と対応

高木 潤野 長野大学社会福祉学部

### SY5-2-2 吃音（小児期発症流暢症）の理解と心理社会的支援

田中 恭子 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター こころの診療部

### SY5-2-3 チック・トゥレット症の治療 ～チック症状を改善させるために～

星野 恭子 医療法人社団 昌仁醫修会 瀬川記念小児神経学クリニック

## 沖縄チャレンジ企画 シンポジウム 成人期へつなぐ切れ目のない発達支援を実現するために

座長：勝連 啓介（医療法人へいあん 平安病院）

### OCSY-1 子育て支援と発達支援をつなぐ～沖縄市の早期発達支援体制～

眞榮田 恵 沖縄市役所こどものまち推進部こども相談・健康課母子保健係

### OCSY-2 わくわくする遊びを通してつながることの大切さ

～遊びの環境を通して、こどもと保護者が保育者や地域とつながることで途切れのない支援を行うことの大切さについて～

羽地 知香 沖縄女子短期大学

### OCSY-3 支援が必要な児童生徒の学校生活と家庭生活を支える

～スクールソーシャルワークの視点から～

比嘉 昌哉 沖縄国際大学 総合文化学部 人間福祉学科

市民公開講座

Youtube 配信あり

子どもの生活習慣がもたらす生活の質～沖縄県小児保健協会 子どもの生活習慣対策委員会の取り組み～

座長：上原 真理子（うえはらこどもクリニック）  
勝連 啓介（医療法人へいあん 平安病院）

**基調講演** 胎児から始める生活習慣病の予防～童（わらび）どう宝の思想～

安次嶺 馨 子どもの生活習慣対策委員会 委員長

**周産期小委員会** 受動喫煙から赤ちゃんと家族を守りましょう

吉田 朝秀 琉球大学病院

**食育小委員会** 朝ごはんから始まる元気な一日

浜端 宏英 医療法人さくら会 アワセ第一医院

**生活習慣小委員会** 沖縄県次世代健康教育副読本作成とそれをもとにした小学校での出前講座の経験

山代 寛 沖縄大学

**歯科小委員会** 「子どものむし歯0（ゼロ）へのチャレンジ」－ 歯科小委員会の取組－

野田 直美 沖縄県歯科衛生士会

**運動・遊び小委員会** 子どもの生活習慣を子どもの生活の質（QOL）から考える～子どものウェルビーイングを充実させるための遊びの可能性～

垣花 道朗 NPO 法人沖縄県学童・保育支援センター

ランチオンセミナー 1

「原因不明の歩容異常」や「特徴的な乳歯早期脱落」に潜む難病  
-ALP 低値で気づく『低ホスファターゼ症（HPP）』-

**LS1-1** 鑑別診断ののち酵素補充療法が導入され、移動能力に影響を認めた  
HPP 合併脳性麻痺患者の一例

田村 太資 大阪母子医療センター リハビリテーション科

**LS1-2** 歯科から小児科へ紹介される難病『低ホスファターゼ症（HPP）』  
-急速に進む地域の歯科医科連携-

佐藤 秀夫 鹿児島大学病院 発達系歯科センター 小児歯科

共催：アレクシオンファーマ合同会社

## ■一般演題・ポスター

### ポスター

### 保育・育児

- 1P01** 妊娠 26 週時と産後 1 か月時の母親のストレス対処特性の変化と産後うつや児への感情との関連  
木村 めぐみ 医療法人碧会ヤナセクリニック
- 1P02** 医療機関の産科管理者からみた周産期メンタルヘルス支援～インタビュー調査より～  
下中 壽美 沖縄県立看護大学
- 1P03** 乳幼児健診における心雑音の病的意義の検討  
川村 悠太 東邦大学医療センター大森病院小児科
- 1P04** 地域における医療的ケア児の発達支援と保育安全—災害にかかわる検討を中心に—  
山本 智子 国立音楽大学
- 1P05** こども園におけるコロナ休園時の電話連絡チェックリストの活用の報告 - 保護者支援を目的として -  
小池 由香里 滋賀医科大学小児科学講座、  
社会福祉法人 三宝会 幼保連携型認定こども園 ののみちこども園、  
明石市こども局こども育成室
- 1P06** 保育所における発達障害の子どもの支援に関する研究動向と課題  
木内 妙子 東京工科大学 医療保健学部 看護学科
- 1P07** 保育所等における従来の感染症と COVID-19 感染症の予防対策の比較 (1) - 管理職が認識する現状と課題 -  
宮崎 つた子 三重県立看護大学
- 1P08** 保育所等における従来の感染症と COVID-19 感染症の予防対策の比較 (2) - 保育職が認識する現状と課題 -  
鷺見 裕子 高田短期大学
- 1P09** 保育所等における従来の感染症と COVID-19 感染症の予防対策の比較 (3) - 看護職が認識する現状と課題 -  
宮崎 つた子 三重県立看護大学
- 1P10** 認可保育所等における感染症対策の現状～保育士等の予防接種歴及び感染症罹患歴の現状調査からの検討～  
鳥海 弘子 秋草学園短期大学

- 1P11 食物アレルギーに関する講義後の保育専攻学生の意識・知識の実態調査  
山本 裕子 新見公立大学健康科学部看護学科
- 1P12 保育所等における小児慢性疾患児の就園に関する実態調査  
西田 みゆき 順天堂大学
- 1P13 大学内0～2歳児保育施設における食物アレルギー除去のための  
全園児同じ献立の取り組み  
中原 初美 東京家政大学ナースリールーム
- 1P14 幼児の偏食等の食の困りごとに対する保育現場での食生活支援のあり方の検討  
—「幼児期の健やかな発育のための栄養・食生活支援ガイド」の効果的な  
展開に向けて—  
鈴木 美枝子 玉川大学
- 1P15 熊本県における幼児の食習慣・食生活の実態調査  
—噛む習慣を中心とした解析—  
當房 浩一 信州大学学術研究院医学系（旧所属：尚絅大学生活科学部栄養科学科）
- 1P16 幼児の野菜摂取と不定愁訴  
黒谷 万美子 愛知学泉大学
- 1P17 保育者の与薬に関する知識と行動に関する質的研究  
佐野 葉子 東京福祉大学
- 1P18 保育所における感染症に関するガイドライン・マニュアルの活用の実態  
両角 理恵 東京家政大学
- 1P19 親子の絆づくりプログラム「赤ちゃんがきた！」オンライン版の開発  
原田 大輔 地域医療機能推進機構（JCHO）大阪病院 小児科
- 1P20 地域母子保健事業の挑戦  
—フォローアップ調査から見た30分の親支援プログラム「どれみプログラム」  
の効果—  
眞崎 由香 茨城キリスト教大学
- 1P21 新型コロナウイルス感染症感染拡大による子育て中の母親への  
心理的影響について  
阪本 夏子 地域医療機能推進機構 大阪病院 小児科
- 1P22 沖縄県の乳幼児を育てる母親の育児に関する困りごとについて  
和田 陽香里 名城大学大学院
- 1P23 生後1か月から2か月児を育てる母親の育児生活肯定感に影響する  
要因の検討  
上田 香 武庫川女子大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 修士課程、  
高石市役所 保健福祉部 地域包括ケア推進課

- 1P24 父親の出産前教育参加の実態とストレス対処との関係  
関 美雪 埼玉県立大学 保健医療福祉学部
- 1P25 未就学児をもつ父親の育児に関する国内文献検討  
清野 星二 三育学院大学
- 1P26 小児科医と助産師と地域ボランティアの協働で創る産後  
～1歳児の親子の居場所作りの実践  
福井 聖子 NPO 法人小児救急サポートネットワーク・NPO 法人はんもっく
- 1P27 地域子育て支援拠点施設における子育て支援の質向上への取り組み  
梶 美保 皇學館大学
- 1P28 子育てにおける体罰等の容認意識とその変容を促す方策検討の試み  
安藤 朗子 日本女子大学 家政学部 児童学科
- 1P29 特定妊婦に関する情報共有の実態調査  
杉浦 至郎 あいち小児保健医療総合センター
- 1P30 食に関する不安が子育てに向き合う気持ちに及ぼす影響：多様なサポート  
による緩衝効果  
伊藤 優 島根大学
- 1P31 沖縄県5市における3歳児の早寝である保護者の児の睡眠に関する自由記述  
の分析  
儀間 繼子 琉球大学医学部保健学科
- 1P32 沖縄県A市における乳幼児を育てる世帯の経済状態と子育てにおいて  
気になることとの関連：自由記述の分析  
神谷 義人 名桜大学人間健康学部スポーツ健康学科、琉球大学大学院保健学研究科
- 1P33 在籍保育所における親子療育教室の意義—第3報—  
フォローアップと移行支援  
橋本 かほる 京都先端科学大学健康医療学部
- 1P34 学童保育施設に通う特別な支援が必要な児童の社会性に関する家庭環境の  
影響について  
橋本 創一 東京学芸大学
- 1P35 清潔行動に対する子どものセルフケア能力を育む母親の意識とかわり  
—学童前半の子どもの親に焦点を当てて—  
鈴木 千衣 佐久大学看護学部

- 1P36 シニア大学受講者の障害児・家族に対する地域支援活動への関心とその関連要因  
草野 恵美子 大阪医科薬科大学看護学部
- 1P37 昭和初期における母性教育と育児啓蒙についての歴史的考察—三田谷治療教育院の事例を通して—  
本保 恭子 ノートルダム清心女子大学
- 1P38 市町村間の広域連携による病児対応型保育の提供について  
江原 朗 広島国際大学
- 1P39 病児保育施設の保育士や看護師の取り組みに関する文献検討  
田中 岳美 兵庫医療大学 看護学部 看護学科

## ポスター

## 社会・環境

- 1P40 家族で楽しむ季節行事の経験と児の社会情動的スキルの発達との関連  
細川 陸也 京都大学大学院 医学研究科
- 1P41 育児中の母親とソーシャル・キャピタルに関する文献検討  
甲斐村 美智子 熊本保健科学大学
- 1P42 新型コロナウイルス感染拡大予防のための行動変容時期における「子どもマスク」への関心度とその影響要因に関する時系列分析  
顧 艶紅 大阪医科大学

## ポスター

## 発育・発達・思春期

- 1P43** 新生児の生理的体重減少と生後1か月までの体重増加に影響を及ぼす要因  
加藤 則子 十文字学園女子大学 幼児教育学科、国立保健医療科学院 生涯健康研究部、  
日本小児保健協会 発育委員会
- 1P44** 子どもと家族が自己決定した成長ホルモン注入器選択における看護実践  
～成長ホルモン補充療法開始初期での治療継続意欲調査～  
高橋 美奈子 日本医科大学武蔵小杉病院
- 1P45** 生徒の運動スポーツ経験に対する保護者意識  
仁藤 喜久子 仙台白百合女子大学
- 1P46** 発達障害支援における5歳児発達相談の有用性（1）  
－アセスメントツールの開発と活用の効果－  
横山 和世 国際医療福祉大学大学院
- 1P47** 発達障害支援における5歳児発達相談の有用性（2）  
～特別支援学校センター的機能充実事業の視点から～  
柳川 悦子 柳川小児科医院
- 1P48** 発達障害支援における5歳児発達相談の有用性（3）  
－協調運動のスクリーニングと就学支援：作業療法士の立場から－  
柳川 悦子 柳川小児科医院
- 1P49** 発達障害支援における5歳児発達相談の有用性（4）  
－心理相談の役割－  
柳川 悦子 柳川小児科医院
- 1P50** 発達障害支援における5歳児発達相談の有用性（5）  
－就学への円滑な流れ－  
柳川 悦子 柳川小児科医院
- 1P51** 母親が自閉スペクトラム症をもつ子どもの就学前に体験した子育ての  
プロセス  
横山 和世 元獨協医科大学大学院看護学研究科
- 1P52** 自閉スペクトラム症をもつ子どもの母親が発達障害の知識を  
ペアレント・トレーニングスキルの実践に活用するプロセス  
鈴木 ミナ子 沖縄県立看護大学、琉球大学大学院保健学研究科
- 1P53** 自閉症児をもつ母親のストレス対処方略の日米比較  
ポーター 倫子 ワシントン州立大学

- 1P54 親がとらえる障がいをもつ子どもの性の現状と課題  
川崎 有紀 関西医科大学看護学部
- 1P55 自閉症スペクトラム児の療育における保育者の関わり  
ー「とことん付き合う」支援の意義と拡がりの検討ー  
平田 香奈子 広島修道大学 人文学部
- 1P56 保健室を利用している高校生の「発達障害困り感」と「支援ニーズの高さ」  
との関連  
日下 虎太郎 東京学芸大学大学院 連合学校教育学研究科
- 1P57 小学校における感覚過敏への支援に関する調査研究  
町田 唯香 東京学芸大学大学院教育学研究科
- 1P58 集団の年齢構成と保育士が「気になる子」の特徴  
落合 利佳 京都女子大学
- 1P59 「令和2年度市町村乳幼児健診事後教室実施状況 およびフォロー事業に  
関する調査」結果概要  
大城 勇輝 社会福祉法人 沖縄肢体不自由児協会 沖縄県発達障害者支援センター
- 1P60 発達障害児の親子を対象としたペアレント・トレーニングと運動遊び  
プログラムの効果について  
大久保 千恵 京都橘大学
- 1P61 身長成長速度曲線分析に基づく日本人小児の思春期前傾化について(第2報)  
杉浦 令子 和洋女子大学家政学部健康栄養学科
- 1P62 障がいをもつ子どもの性に対する親の対応と社会に求めること  
西川 菜央 関西医科大学看護学部
- 1P63 学校現場における性的マイノリティ生徒への配慮・支援への意識  
ー性の多様性についての公立中学校教員への実態調査結果よりー  
田中 成子 たなかや助産院
- 1P64 ダウン症候群の子どもを持つ親が子どもの就学先を決定する過程  
佐々木 真湖 八戸学院大学
- 1P65 コロナ休校に関連して発症した摂食障害5例の報告  
田中 健佑 前橋赤十字病院
- 1P66 性差を考慮した幼児版社会性・行動評価尺度の開発「クイズ」課題の  
適用年齢について  
田中 駿 兵庫教育大学大学院

- 1P67 新版K式発達検査 2020 の改定作業の経過と公刊  
郷間 英世 姫路大学、新版K式発達検査研究会
- 1P68 両親の周産期気分障害と子どもの健康の関連：レセプトデータを用いた検討  
帯包 エリカ 東京大学医学系研究科 精神保健学分野
- 1P69 外遊び指向・運動習慣・運動性向の3指標による小児の身体活動量評価：男女、市部・中山間地域、肥満・非肥満による差異  
木村 真司 島根大学医学・看護学系医学部臨床看護学講座

### ポスター 感染症・予防接種

- 1P70 小児総合病棟における新型コロナ陽性患児発生時の机上訓練の実施～フロアマップとエマルゴ人形を使用して～  
藤多 弘美 鳥取大学医学部附属病院 病棟3階B
- 1P71 養育者が子どもに行った新型コロナウイルス感染症予防対策と生活の変化  
小原 綾夏 東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部
- 1P72 予防接種を受ける幼児の苦痛や苦痛緩和に関する看護職の認識と実践の実態  
藤沼 小智子 東京医科大学
- 1P73 百日咳の家庭内感染を契機に、動機付け面接によりワクチン接種を決意するに至った vaccine hesitancy の一家族例  
杉立 玲 前橋赤十字病院 小児科
- 1P74 保育施設において保育中に実施したインフルエンザワクチン集団接種に関する保護者アンケート調査  
伊東 宏明 亀田総合病院

## ポスター

## 医療・保健・福祉

- 1P75** 子どもの心の診療を行う小児科医療機関における連携状況の  
類型化からみえた課題  
小倉 加恵子 国立成育医療研究センターこころの診療部、鳥取県子育て・人財局
- 1P76** 夜間の小児救急体制をフリーアクセスから相談電話によるトリアージへと  
変更した成果の検証  
祝出 理恵子 中津市立中津市民病院
- 1P77** 医療的ケア児の小学校就学に向けた支援に関する文献検討  
岡本 奈々子 東京医科大学医学部看護学科
- 1P78** 特別支援学校における医療的ケア実施体制に対する支援プログラムの  
介入効果と課題  
二宮 啓子 神戸市看護大学
- 1P79** 養護教諭に求められる能力グループでの話し合いにおける語りの分析  
山本 真実 浜松医科大学医学部看護学科
- 1P80** 食物アレルギーのある中学生の体格と食事に関する検討  
谷川 涼子 青森県立保健大学
- 1P81** A 小学校における児童の足爪トラブルの実態と爪のケアとの関連  
二神 真理子 佐久大学看護学部
- 1P82** 幼児期から学童期の生活や保健に関する教育現場の認識と各種統計との  
隔たり  
福永 知久 鹿児島純心女子大学 看護栄養学部 看護学科、  
横浜国立大学大学院 環境情報学府 博士課程後期
- 1P83** 小中一貫教育の開始前と開始後の同学年の子どもの QOL の比較  
宮崎 つた子 三重県立看護大学
- 1P84** 被暴力および被虐待経験が大学生の自我の発達に及ぼす影響  
林田 りか 長崎県立大学
- 1P85** 中学生の精神的健康状態と栄養素の関連  
古川 照美 青森県立保健大学
- 1P86** マルトリートメントの早期発見における母子健康手帳の有用性  
森内 優子 イムス富士見総合病院、日本大学医学部小児科学系小児科学分野
- 1P87** 幼少期の体験のトラウマを契機に多彩な症状が出現した女児例  
杉山 千央 イムス富士見総合病院、日本大学医学部小児科学系小児科学分野

- 1P88** 要支援妊婦への予防的介入による虐待予防の取り組み  
野野 亜紀子 帝京大学 大学院 公衆衛生学研究科
- 1P89** 重症心身障がい児・医療的ケア児を対象とした児童発達支援事業所に勤務する看護職の役割と課題  
原島 郁実 医療法人財団はるたか会 訪問看護ステーションそら
- 1P90** 保育者・教員を目指す大学生の医療的ケア児に対する意識に関する検討  
八木 麻理子 甲南女子大学 人間科学部 総合子ども学科
- 1P91** 重症心身障害児者の母親の就労意識  
—母親としてのケア役割意識がもたらす罪悪感と個人として生きる意識—  
中川 薫 東京都立大学
- 1P92** 小児医療から成人医療に移行する重症心身障害者とその家族の経験  
山本 美智代 東京都立大学大学院 人間健康科学研究科
- 1P93** 子どもを預ける場がない  
—津波でコミュニティが失われた地域で、子どもの避難所・居場所を選択する母親の想い—  
山本 美智代 東京都立大学大学院 人間健康科学研究科
- 1P94** 特別支援学校の健康管理の調査 肢体不自由児特別支援学校での10年後の再調査  
芝原 美由紀 東京国際大学
- 1P95** 片麻痺を呈する脳性麻痺児に対するデジリハと既存の玩具の比較  
—症例報告—  
小島 賢司 地域療育センターあおば 診療課
- 1P96** 演題取下げ
- 1P97** 新型コロナウイルス感染拡大がムコ多糖症および類似疾患児（者）の日常生活へ及ぼした影響と今後の希望  
坂口 由紀子 大東文化大学
- 1P98** 在宅で生活する障がいのある子どもと家族へケア・コーディネーションを行う相談支援専門員の体験  
松澤 明美 茨城キリスト教大学看護学部看護学科
- 1P99** 新型コロナウイルス感染症流行下で行ったWebを活用した在宅移行支援  
金田 友花 鳥取大学医学部附属病院 病棟3階B

- 1P100 乳児健診の身長計測における身長計測アプリの有用性  
河野 由美 自治医科大学小児科
- 1P101 コロナ禍における「健やか子育てガイド」を用いた個別健診の試み  
阪下 和美 国立成育医療研究センター総合診療部
- 1P102 乳児に対するオンライン健診の試み  
秋山 千枝子 あきやま子どもクリニック
- 1P103 「乳幼児健康診査身体診察マニュアル」に準拠した乳幼児健診の有効性の検討  
前川 貴伸 国立成育医療研究センター 総合診療部 総合診療科
- 1P104 乳児股関節脱臼に対する乳児健診を待たない早期紹介体制の試み  
星野 弘太郎 西部島根医療福祉センター
- 1P105 全国市区町村調査からみた新型コロナウイルス感染症の流行下における乳幼児と保護者の状況  
佐々木 溪円 実践女子大学 生活科学部
- 1P106 COVID-19 感染対策下における、4 か月児健診への大阪府内各市町村の対応  
福井 聖子 (一社)大阪小児科医会
- 1P107 総排泄腔遺残症の子どもを持つ母親の体験  
三原 優希 九州大学大学院医学系学府保健学専攻
- 1P108 患者・家族会立ち上げの経験  
～わが子が先天性横隔膜ヘルニアと診断されて～  
寺川 由美 大阪市保健所
- 1P109 医療的ケアを必要としている在宅療養児の家族が家族会に期待する内容  
磯 彩理 三重県立看護大学
- 1P110 幼児のクロノタイプと生活リズム、睡眠習慣、養育行動の実態  
岩淵 光子 岩手医科大学
- 1P111 お友だち探しの活動からわかる家族の歩みを支える関わり  
川嶋 泰子 認定 NPO 法人難病のこども支援全国ネットワーク
- 1P112 COVID-19 影響下でのプレイリーダーの役割と課題  
本田 睦子 認定 NPO 法人難病のこども支援全国ネットワーク
- 1P113 環境や時代の変化に即したピアサポート活動の役割と課題  
下村 美紀 認定 NPO 法人 難病のこども支援全国ネットワーク

- 1P114 出産から就学後の気持ちの変容プロセスに関する1事例の検討  
—わが子の発達が気になる母親へのインタビューを通して—  
佐々木 沙和子 帝京大学
- 1P115 障がい児・者をもつきょうだいの家族に対する思い  
矢野 芳美 金城大学
- 1P116 遠隔健康医療相談における「育児相談」の内訳  
竹山 啓吾 山梨大学医学部医学科
- 1P117 福祉型児童発達支援センターにおける痙攣時対応の体制づくり  
—けいれん時チェックシートを活用して—  
深水 沙穂里 総合大雄会病院
- 1P118 医療的ケア児を含む重症児者と家族を支援するためのスーパーバイズ事業  
岩本 彰太郎 三重大学医学部附属病院
- 1P119 O 県北部の離島における島外出産への支援体制の現状と課題  
田場 真由美 公立大学法人 名城大学 人間健康学部看護学科、  
公立大学法人 名城大学大学院看護学研究科
- 1P120 産後ケア事業の展開～その①全国調査から～  
佐藤 拓代 公益社団法人母子保健推進会議
- 1P121 産後ケア事業の展開～その②小児科診療所の取り組み～  
秋山 千枝子 あきやま子どもクリニック
- 1P122 5歳児に「自分のからだ」を伝える事業（1）  
—プログラムの構築—  
宮崎 つた子 三重県立看護大学
- 1P123 5歳児に「自分のからだ」を伝える事業（2）  
—担任へのインタビューから得た子どもと担任の反応—  
川瀬 浩子 三重県立看護大学
- 1P124 歯科受診が困難な非定型発達児の受診準備支援動画制作に向けた一考察  
内山 由美子 帝京大学医療技術学部 スポーツ医療学科

## ポスター 歯科

## 1P125 乳幼児における社会経済的状況と歯磨き行動との関連：沖縄県 A 市こどもの生活等に関する調査

喜屋武 享 沖縄女子短期大学、琉球大学医学部

## ポスター 慢性疾患

## 1P126 思春期にある 1 型糖尿病患者の疾患管理の負担に対する親子の認識と心身の状態に関する検討

松本 宙 大阪市立大学 大学院医学研究科、三重大学 大学院医学系研究科

## 1P127 学校検尿で発見され、確定診断までに時間を要した緩徐進行 1 型糖尿病の 2 症例

田嶋 華子 日本医科大学武蔵小杉病院 小児科

## 1P128 治療薬の自己中断により入院を繰り返した Basedow 病の 12 歳女子例

寺田 啓輝 イムス富士見総合病院、日本大学医学部付属板橋病院

## 1P129 小児慢性疾患患者のヘルスリテラシーの実態

小澤 典子 筑波大学

## 1P130 乳幼児期の子どもと保護者を対象とした小児喘息テイラー化アプリのプロセス評価

飯尾 美沙 関東学院大学看護学部

## 1P131 食物経口負荷試験を担当する看護師の教育に関してアレルギーケアの熟練看護師が認識する困難

西田 紀子 姫路大学看護学部

## 1P132 乳幼児期に腎移植を受けた子どもと家族の学童期の生活における経験と取り組み

大堀 美樹 東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科

## 1P133 先天性心疾患をもつ学童の社会適応能力が母親による病気説明の実施基準に与える影響

— 医学的知識の説明に焦点を当てて —

遠藤 晋作 名古屋市立大学 大学院看護学研究科

## 1P134 親亡き後の在宅難病児（者）の身体的・心理的・社会的問題の予測と必要な支援

久保 恭子 東京医療保健大学立川看護学部

## ポスター

## 看護・ケア

- 1P135** 医療的ケアの為に基本的な生活習慣獲得困難な幼児前期の子どもに対する熟練看護師の実践  
中嶋 香織 埼玉県立小児医療センター
- 1P136** 訪問看護における専門看護師の活動に関する文献検討～小児看護専門看護師に求められる役割～  
細田 三奈 訪問看護ステーション しえあーど
- 1P137** 成人期の小児慢性疾患患者に関わる小児科及び小児病棟看護師の困難感とケアの工夫  
仁尾 かおり 三重大学大学院医学系研究科
- 1P138** 医療的ケア児が小学校・中学校に就学する前後の保護者の思いと看護師への期待  
高野 政子 大分県立看護科学大学看護学部
- 1P139** 認識する甘やかし行動をする養育者の思いと支援のあり方  
浅井 佳士 明治国際医療大学
- 1P140** 在日ペルー人母親の子どもへの医療機関受診行動と困難  
鈴木 茉莉 あいち小児保健医療総合センター
- 1P141** 医療的ケアが必要な在宅療養児をもつ父親の心理的变化に関する文献検討  
草野 淳子 大分県立看護科学大学
- 1P142** 子どもに携わる看護師を対象とした子どもの権利擁護実践を高める教育プログラム（初級編）の開発と検証  
- プログラム受講後の子どもの権利擁護実践状況 -  
高橋 衣 東京慈恵会医科大学医学部看護学科
- 1P143** 病気の子どものケアを主題にした書籍における便秘に関する記載内容の分析  
小泉 麗 昭和大学保健医療学部看護学科
- 1P144** 新しい生活様式下における幼児の感染予防行動および日常生活の変化－新型コロナウイルス感染症の流行前との比較－  
遠藤 数江 国立看護大学校
- 1P145** COVI-19 感染拡大下における小児看護学実習に対する学生が抱いた印象  
徳島 佐由美 森ノ宮医療大学

- 1P146 在宅重症心身障害児の親の体調の様相と訪問看護師のケア  
～ 体調維持の程度別からの分析～  
長谷 美智子 武蔵野大学
- 1P147 ICT を活用した小児看護学実習における学習効果の検討  
～オンライン実施による学習効果～  
篠原 理恵 東京医療学院大学 保健医療学部 看護学科
- 1P148 多職種協働プレパレーションを目指した PMEC スタッフ研修会の現状と課題  
～コロナ禍でのオンライン研修を通して～  
平田 美紀 聖泉大学
- 1P149 看護基礎教育における小児科外来予診場面のシミュレーション演習  
— 学生の学びと体験 —  
長谷川 美由紀 元深川市立高等看護学院
- 1P150 観察者の属性が痛み評価に与える影響  
— Paediatric Pain Profile 日本語版を使用して—  
大北 真弓 三重大学大学院医学系研究科看護学専攻
- 1P151 COVID-19 流行下に経験した終末期小児がんの一例  
林 美帆 国立国際医療研究センター
- 1P152 自閉スペクトラム症の親子相互作用に関する文献レビュー  
長 志保 国際医療福祉大学小田原保健医療学部作業療法学科、  
国際医療福祉大学大学院保健医療学専攻作業療法学分野

## ポスター 栄養

- 1P153** 幼児の体格評価の類型による栄養・食事指導の検討  
生魚 薫 和洋女子大学大学院 総合生活研究科
- 1P154** 離乳完了前後における授乳状況と摂食状況との関連性の検討  
大杉 佳美 ピジョン株式会社 国内ベビー・ママ事業本部
- 1P155** 成長曲線・肥満度曲線を用いた、幼児の成長障害の検討  
原 光彦 東京家政学院大学 人間栄養学部、日本大学医学部 小児科学系小児科学分野
- 1P156** 栄養士による入院時の食物アレルギー問診の有用性について  
稲垣 智子 社会医療法人 真美会 大阪旭こども病院 栄養科
- 1P157** 幼児の生活・食習慣と腸内細菌構成群との関係  
岸本 三香子 武庫川女子大学 食物栄養科学部 食物栄養学科、武庫川女子大学 栄養科学研究所

## ポスター 新生児・未熟児

- 1P158** 早期養育期における双子をもつ父親の思い - 妻との協働育児を通して -  
横山 直美 秀明大学 看護学部
- 1P159** 低出生体重児における母子間の相互交渉の在り方と育児ストレスとの関連  
金城 志麻 琉球大学障がい学生支援室

## ポスター 事故・救急・災害

- 1P160 動画を利用した保育園児の見守り状況の定量的時空間分析  
田島 怜奈 東京工業大学
- 1P161 外傷で受診した小児例の現状と予防策の検討  
佐竹 留美子 聖路加国際病院
- 1P162 学校安全のための児童参加型オンライン授業  
大野 美喜子 産業技術総合研究所、Safe Kids Japan
- 1P163 遠隔 TV を用いたバーチャル家庭訪問による保護者向け傷害予防教育の実践  
大野 美喜子 産業技術総合研究所、Safe Kids Japan
- 1P164 製品の袋への表示で、豆による誤嚥・窒息を予防する  
山中 龍宏 緑園こどもクリニック、Safe Kids Japan、産業技術総合研究所人工知能研究センター
- 1P165 小児医療における保護者の「思い」に関する定性分析  
佐藤 由紀子 新潟大学 医学部 保健学科
- 1P166 台風による浸水被害を受けた保育施設の保育再開時の課題  
—令和元年台風第 19 号により被災した栃木県宇都宮市の認定こども園の事例から—  
西村 実穂 東京未来大学こども心理学部
- 1P167 東日本大震災における障害児者の避難状況と福祉避難所の検証  
—福島県震災記録の分析—  
中川 薫 東京都立大学

## ポスター 国際保健・海外協力

- 1P168 マラウィにおける子供の食の安全保障確立への取り組み  
浦部 大策 聖マリア病院 国際事業部



# プログラム委員

---

宮城 雅也	沖縄中部療育医療センター
當間 隆也	一般社団法人Kukuru Kukuruきっずクリニック
照屋 明美	公益社団法人沖縄県小児保健協会
浜端 宏英	医療法人さくら会 アワセ第一医院
小濱 守安	沖縄南部療育医療センター
上原真理子	うえはらこどもクリニック
棚原 睦子	公益社団法人沖縄県小児保健協会
野村れいか	沖縄国際大学 総合文化学部
比嘉千賀子	沖縄県八重山保健所
屋良 朝雄	那覇市立病院
金城 紀子	琉球大学大学院医学研究科育成医学（小児科）講座
勝連 啓介	医療法人へいあん 平安病院
比嘉 猛	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
富名腰義裕	沖縄県小児科医会（一般社団法人Kukuru Kukuruきっずクリニック）
真喜屋智子	沖縄県立中部病院 総合周産期母子医療センター新生児内科
安慶田英樹	沖縄県小児保健協会附属クリニック
泉川 良範	社会福祉法人五和会 医療型障害児入所施設 名護療育医療センター
笠原 寛子	公益社団法人沖縄県栄養士会
島袋富美子	公益社団法人沖縄県看護協会
仲間 陽子	沖縄県保育士・保育教諭会
仲宗根輝子	那覇市健康部 那覇市保健所地域保健課
山川 宗貞	沖縄県保健所長会（沖縄県北部保健所）
兼次 拓也	沖縄小児科学会（琉球大学大学院医学研究科育成医学（小児科）講座）

（順不同、敬称略）

## 協賛企業・団体一覧

---

アレクシオンファーマ合同会社

MSD株式会社

株式会社JVCケンウッド

武田薬品工業株式会社

日本新薬株式会社

公益財団法人日本医療機能評価機構

ノーベルファーマ株式会社 / 株式会社メディパルホールディングス

(五十音順)

第68回小児保健協会学術集会を開催するにあたり、上記企業・団体様からご支援を賜りました。  
この場をお借りして深感申し上げます。ご支援いただき誠にありがとうございました。

第68回小児保健協会学術集会 会頭 宮城 雅也



## Better Health, Brighter Future

一人でも多くの人に、かけがえのない人生をより健やかに過ごしてほしい。

タケダは、そんな想いのもと、1781年の創業以来、人々の人生を変えうる革新的な医薬品の創出を通じて社会とともに歩み続けてきました。

タケダはこれからも、グローバルなバイオ医薬品のリーディングカンパニーとしてより健やかで輝かしい未来を、世界中の人々へお届けするために挑戦し続けます。

武田薬品工業株式会社  
www.takeda.com/jp



# JVC

療育の前後や  
健診等で使用できる  
社会性の発達  
(人への関心など)  
評価用画像あります



5か月児※から  
子ども自身の  
視線で評価が可能  
したがって  
客観的かつ定量的  
※当社調べ



## 視線計測装置 NP-200 *Gazefinder*

オンラインデモ大歓迎!

【ゲイズファインダー】



製品・論文等の  
情報はこちらから

お問い合わせ先

株式会社 JVCケンウッド ヘルスケア事業部

〒221-0022

神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12 TEL 045-444-5354

EMAIL [healthcare.info@jvckenwood.com](mailto:healthcare.info@jvckenwood.com)

# MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.